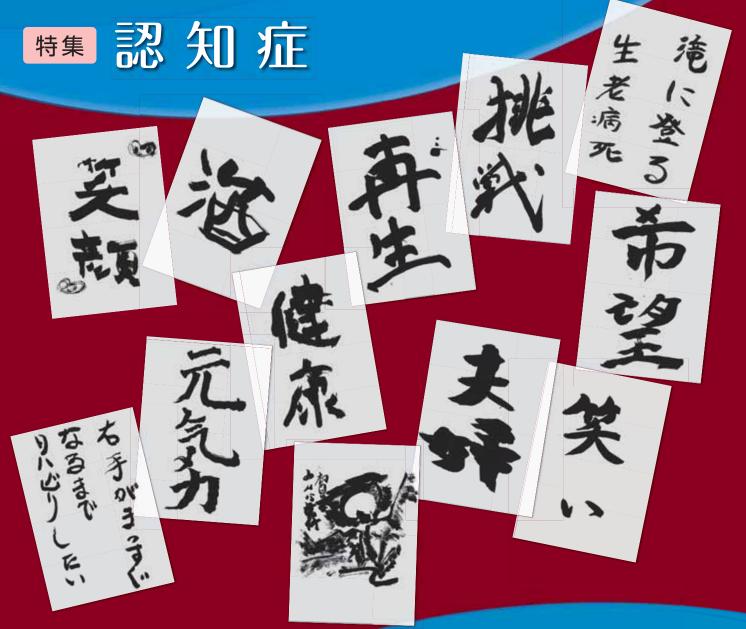
大阪作業療法ジャーナル

Journal of the Osaka
Occupational Therapy Association: JOOTA



Vol. 27 No. 2 Jan. 2014

2 (一社)大阪府作業療法士会

特

大阪作業療法ジャーナル

第27巻 第2号

巻!	頭言 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	関本	充史71			
特	集: 認知症					
	認知症施策の動向とこれからの取り組みについて	田中	園代72			
	「認知症」の診断と症状別特性 認知障害の新しい考え方 一DSM-5について—	澤田	徹 80			
	認知症の作業療法評価	平田	暁子 90			
	介護老人保健施設における認知症高齢者の作業療法 〜小集団活動を活用した支援〜	佐上	雅宣 98			
	認知症における作業療法アプローチ 一在宅支援・家族支援のあり方一	横井賀	_{【津志 ·······} 106			
研究論文						
	日用品類に含まれる金属部分が磁気式 3次元運動計測装置の計測精度に与える影響	加茂麻	禾衣子 117			
	行事と日課が作業療法専門学生の 学校生活に与える影響	林	亜遊 124			
知二	っていますか?					
	タブレットPC を用いた脳機能評価システム(Livalif)				
		内藤	泰男 131			
とた	りの街の作業療法士					
	地域完結型リハビリテーションにおける 当院グループでの取り組み	藤原	英子 136			
	療法士の集まれる場として 〜豊能圏域における連携の実践について〜	大山	勝範 141			
書	評					
	可能性を考える	中西	英一 144			
府:	士 会					
	作業療法推進活動部門による中学校職業講話実施状況 事業部作業療法推進活動部門					
投稿規定						
執筆要領						
編集後記・部員名簿						

編集後記

今号の特集は「認知症」をテーマにしています。2012年9月に公表された認知症施策推進5カ年計画(オレンジプラン)では、認知症高齢者を住み慣れた環境で生活できるよう体制を整えることを目的としています。作業療法士は急性期や回復期など時期にかかわらず対象者の住み慣れた環境での生活をイメージし支援して行くことが重要であり、そのためには作業療法士間での連携が必要だと思います。病院・施設など機能分化が進む昨今、日々の臨床で対象者に対する作業療法の継続性が確保できるようさらに連携を強化し、対象者の幸福につながればと思います。

また、オレンジプランでは認知症初期集中支援チームの一員として作業療法士の 職名が明記されました。認知症のみならず、作業療法士が専門性を大いに発揮し、 対象者やその家族、そして社会に求められるためには事例やエビデンスの集積が必 要だと思います。機関誌をその場としてご利用いただき作業療法がより発展してい ければと思います。

(蓬萊谷)

部員名簿

巽	絵理	代 表	関西福祉科学大学
黒澤	淳二	副代表	南大阪小児リハビリテーション病院
福島	洋祐	代表補佐·会計	南大阪小児リハビリテーション病院
林	理恵	会計補佐	協和会病院
古原	将馬	会 計	関西医科大学附属滝井病院
山田以	かり	書記	南大阪小児リハビリテーション病院
中村	孝志	書記	河内総合病院

橋本 弘子	広 報	藍野大学
橋本 晋吾	広 報	関西医科大学附属枚方病院
西川 智子	・査・読	大阪府立大学
中西 英一	・査・読	藍野大学
蓬莱谷耕士	* 査 読	大阪医科大学附属病院
加藤 敏一	・査・読	星ヶ丘厚生年金病院
吉田 文	担当理事	大阪保健医療大学

大阪作業療法ジャーナル 第27巻 第2号

発行人:長辻 永喜

(一社)大阪府作業療法士会

〒 543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6

サンプラザ寺田町駅前ビル701A

 $\mathtt{TEL}: 06\text{-}6772\text{-}6763 \qquad \mathtt{FAX}: 06\text{-}4305\text{-}6699$

 $URL: http://osaka-ot.jp \qquad E-mail: jimu@osaka-ot.jp$

出版: **Secand** 株式会社 セカンド

〒 862-0950 熊本市中央区水前寺 4-39-11 ヤマウチビル 1F TEL: 096-382-7793 FAX: 096-386-2025

